

336-A地区 5R-1Z

丸亀ライオンズクラブ会報誌

No.951



# LIONS

2013

7・8

2013 MARUGAME LIONS CLUB



「繋ぐ心でウィ・サーブ！」

「絆」





丸亀LCから多くの参加を目指そう!!

ライオンズフォーラムin高松のご案内

# ライオンズフォーラム in高松

開催のご案内 9月15日(日)  
平成25年  
会場/香川県高松市 サンポート高松地区

第3回 女性フォーラム開催



主催/ライオンズフォーラムin高松実行委員会

## ごあいさつ

ライオンズクラブは1917年、アメリカのイリノイ州で生まれました。日本では1952年に誕生してから60周年をむかえました。「We Serve」の元に更に一致団結して、精進と研鑽を計りたく、2013年9月15日、第3回女性フォーラムを兼ねた「ライオンズフォーラムin高松」を四国高松で開催し、更なる発展へと結び付けたいと存じます。是非、多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

ライオンズフォーラムin高松実行委員会 委員長  
336複合地区元ガバナー協議会議長 山地 章靖

1355回例会

# 夏の家族例会



## 「2013年度夏の家族例会」を終えて

今年の家族例会は、大岡会長のスローガンにもあるように「絆」をテーマに平成25年8月3日(土)に、ホテルレオマの森にて開催させていただきました。多くの会員の皆様とご家族の皆様が参加していただき、誠にありがとうございました。会員にとってご家族の皆様は、ライオンズ活動を行うための礎となるものであり、ご家族の協力はなくてはならないものです。ご家族の皆様に対して日頃の感謝の意を込めるとともに、そしてご家族との「絆」を更に深めていただくことを念頭に様々なイベントを行いました。

普段、なかなかお目にかかることのない「そうめん流しライブ」及びL横関によるマジック塾は、お子様にとって、この夏の思い出となったのではないのでしょうか。そしてレオマ専属の劇団、ハイパー隊長と舞団の皆様と子供とのコラボによるダンスの披露を企画しましたが、子供以上に会員の皆様が大はしゃぎをしていたのが印象的でした。さらにビンゴゲームで皆様に盛り上がっていただきました。L横関をはじめ計画委員会の皆様には、多大なご協力をいただき、ありがとうございました。

この夏の家族例会を契機として丸亀ライオンズクラブがより一層活性化し、より発展するように、1年間、微力ではありますが、ライオンズ活動に勤しみたいと思います。

みなさま本当にご協力ありがとうございました。

計画委員長 山地 良典



MARUGAME LIONS

ビンゴゲームで大当たり!



横間のマジックショー



レオマ劇団と役員のダンスで大盛況!!



そうめん流しで満足笑顔



家族いっしょの夏の思い出「絆」が出来ました。



とのコミュニケーションを大切にしてください。

**A L 大岡** ありがとうございます。両先輩の暖かい言葉で救われます。

**Q 司会** 丸亀LCも結成して56年が経ちました。変化する時代の中で、我々丸亀LCの目指すべき姿について、夫々のお考えをお聞かせください。

**A L 大岡** 丸亀LC先輩諸氏の顔ぶれを見ますと、すごい人たちがクラブの歴史を培ってこられ、そのご苦労があって今が存在していると、改めて感じます。同じように、現役の私たちの在り方、考え方、行動が、将来の丸亀LCを形作って行くとも思います。丸亀LCが今後80年、100年と続く中で、どんな時代であっても、地域への感謝の気持ち、お返しとして奉仕を忘れてはなりません。我々メンバーが、常に丸亀LC会員としての誇りを胸に行動する事で、明るい、希望ある地域社会作りにお役立ちできると信じています。

**A L 植田** 大岡会長のお話の通り、諸先輩の築かれたクラブの名譽を傷つけることの無いよう、丸亀LCのプライドを各会員が持ってほしいですね。

**A L 宮田** もう一つ大切なことは、まとまりのあるクラブでありたい。チームにまとまりがないのに強いところはなく、まとまりあるクラブ作りには尽きると思う。

**Q 司会** 2013年7月現在、丸亀LCの会員数は74名です。クラブにとって、会員増強が大命題ですが、お考えをお聞かせください。

**A L 大岡** この地域で健全な事業活動を営み、安心・安全な生活を送る事が、会員皆の共通の目的であると思います。一人ひとりが、世界最大の奉仕団体であるLC会員の誇りを持ち、真摯な態度で行動することで、丸亀LCが良い実を生み出せば、自ずと会員は増えると信じています。逆に言えば、普段の私たちの思いや行動、その振舞いが、周りから評価されていることを忘れてはならないと思います。

**A L 植田** 今の経済情勢の中、会員数増強は難しいが増加しているクラブもある。丸亀LCも、

もっとクラブのPRに知恵と汗をかきましょ。強制ではなく、お願いとして、現会員が最低一名の会員増強を目標とする勧誘活動してはどうだろうか。200%例会も、その手段として、もう少し積極的にやってもいいと思う。

**A L 宮田** LCの活動を広く知ってもらうことが一番。その為には、各奉仕活動やアクティビティの充実も重要だが、我々の考え方や価値観、活動をもっと発信することが大事だと思う。「見えるウィーサーブ」を実践したい。

**Q 司会** 336-A地区 第60回年次大会が2014年4月13日に高松サンポートホールで、それに先立って、今年9月15日にライオンズフォーラム in 高松が高松サンポートホールで開催されます。大岡会長は、丸亀LCメンバー全員の参加を呼びかけておられますが。

**A L 大岡** 年次大会は式典中心の1年間の総まとめの発表会、9月開催のフォーラムは「LC夏の勉強会」と私自身はとらえています。来年の年次大会は高松で開催されることもあり、地元LCとしてメンバー全員で参加できればと思っています。フォーラムの方は参加費が自己負担になりますが、参加された会員が、この機会にLCを正面から受け止め、考え、気付きを体験できると期待しています。できるだけ多くの皆様の参加を希望しています。

**A L 宮田** 会長の言葉の通り、今年次大会は高松キャビネットで開催することもあり、一人でも多くのメンバー参加が大事。ライオンズフォーラム in 高松は、全国のLCメンバーとの交流の場、それこそ「縁結び」の場であり、「絆を深める」場でもあります。多くのメンバーの参加を期待します。

**Q 司会** 恐らくこの会報誌の発行はフォーラム直前になると思いますが、是非我々もLCメンバーとしての研鑽と、他のクラブとの交流から学ぶという目的で、多くの参加をお願いしたいと思っています。お三人には大変お忙しい中、お時間を頂戴し誠にありがとうございました。一年間のご活躍を期待しております。

# 「繋ぐ心で We Serve 一絆」

《336-A地区 第60回年次大会へ全員参加をめざして》

2013～2014年ライオンズクラブ（以下LC）国際協会336A地区5R 1ZCにL植田誠一が、336-A地区5R GMT・GLT・会則・プロトコール委員にL宮田章が当クラブから就任されました。当クラブも新会長L大岡信夫の船出の汽笛で2013～2014年の航海を開始しました。そこで、本日は多忙なお三人に紙上座談会をお願いしました。（PRライオンズ情報 大会参加委員会）

出席者：L植田誠一・L宮田章・新会長L大岡信夫・L田中祥友(司会)

Q 司会）L植田、非常にお忙しい毎日となっているようですが、まず336A地区5R 1ZCのお仕事の内容と抱負を聞かせていただけますでしょうか。

A L植田）今回はRCが空席ということで、ZCが



RCの仕事と兼務しなければなりません。私としても未知との遭遇であり、毎日頭の中はLCのことばかり(笑)。本来RCが行うガバナー公式訪問、又ガバナー諮問委員会、LT、TT、各委員長スクール等々を滞りなく企画・手配し、只々一年間を無事終わることを願っています。

Q 司会）同じくL宮田、336-A地区5RのGMT・GLT・会則・プロトコール委員のお仕事の内容と抱負を聞かせてください。



A L宮田）私の仕事は、5R13クラブへLC活動の啓蒙と、会員数の増強と維持への協力をお願いすることです。また、お客様をお迎えする際の席順や、国歌国旗の取扱い、式典の方法や服装など、国際協会公認のプロトコールを会員に周知すること。特に、まもない若いメンバーにキチッと認識してほしいと思っています。

Q 司会）L大岡は、今年第57代丸亀LC会長に就任されました。会長としての抱負をお願いします。

A L大岡）L植田もL宮田も同じだと思いますが、



LCへは「入りたい」と言って入れるものでなく、スポンサーが招聘して初めて入会できるという、人の「縁」が必要です。その「縁」を「絆」に変えて、我が丸亀LCは、これまでもそしてこれからも活動していきます。私は、その歴史の中の1年間を会長としてバトンを受け継ぎ、いい形で、且つ、自信を持って次の人に渡せたらと考えています。

Q 司会）大岡会長は、今期、色々な企画や新たな活動案をお持ちと聞きますが、

A L大岡）何も特別な事は考えていません。全てのクラブ行事やお世話を「繋ぐ心で」楽しく運営をさせて頂きたいと思っています。まず執行部が楽しくやる事で、メンバーの皆様も楽しく感じていただけたらと思っています。仕事もそうですが、どうせやらないといけない事なら楽しくやろう、全てはそこからです。

Q 司会）L植田、L宮田、クラブ会長経験者として、L大岡にアドバイスをお願いします。

A L植田）会長は大変(笑)。一年間、皆の先頭に立って走り続けなければなりません。ペースを守って、気負わず、大過なく普通に運営してください。

A L宮田）やはりクラブメンバーとの意思疎通が大事です。そのためには大変ですが、メンバー

早期発見・  
早期治療が大切



Ｌ 田 中 計 隆

私自身、元々若い頃から元気で体力には自信があったので、病院へ行くのが嫌いでした。しかし、平成23年8月に友人に勧められ、前立腺の検査を受けたところ、PSA数値が非常に高く、ほぼ癌だと検査から宣告されました。詳しく医者を進めるうちに、肺にも癌があることが分り、医師からも前立腺癌の治療よりも肺癌の治療を優先するように言われ、平成24年1月に肺癌の手術を行いました。治療方法については、医師や家族と相談し、胸腔鏡手術にて、右肺の2/3を切除しました。胸腔鏡手術は、脇腹に開いた小さな穴からカメラ、器具を挿入して行う完全鏡視下手術で、患者の体の負担を大幅に軽減することができま

す。入院期間も非常に短くて済み、個人差はありますが1週間程度で退院が可能です。同年10月には体力も回復してきましたので、本来の前立腺癌の手術を行いました。前立腺癌の手術は、へその下12〜13cmを切

自己紹介



Ｌ 金 本 武 士

本日は、頂いた3分間の時間で、入会式で出来なかつた自己紹介を少し詳しくお話させていただきます。私は、今年40歳になります。坂出中学から県立丸亀高等学校に進み、野球部に所属しました。平成2年の第72回全国高校野球選手権大会(夏の甲子園)で、丸亀高校がベスト8の成績を残したとき、キャプチャーとして出場していました。現在は、ソニー生命保険株式会社に働いています。会社は、高松

開し、尿道と膀胱を切除し、前立腺を全摘した後に尿道と膀胱を元に戻す、という手術でした。約4週間入院し、術後に色々障害はありましたが、今は普通に生活が出来るまで回復しました。まずは一安心していますが、あ

のシンボルタワーの中にあります。現在の会社に転職したのは10年前で、ちょうどその頃、L小松と出会いました。この10年の間に、L小松から何度も丸亀ライオンズクラブへの入会のお誘いを受けましたが、決断するには至りませんでした。今年の2月に、L小松から何度目かのお誘いを頂いたとき、私自身の気持ちの変化に気付きました。

40歳を前にして、何か新しいことにチャレンジしたい。高校時代に、また甲子園出場の際には多くの丸亀の方々にお世話になり、寄付や応援の声も掛けていただきました。今、丸亀という地域に何か恩返しできないか、と思い始めました。現在私が住んでいる宇多津町は、東京オリンピックで東洋の魔女を率いた大松監督の出身地です。「鬼の大松、仏の小松」という言葉を誰かから聞いたことがありますが、その思い出し、仏の小松のライオンズクラブへの入会を決心

の時、友人の勧めがなかったらと考えると、友人には本當に感謝です。癌は、早期発見に努め、適切な治療を受けることが重要です。50歳を過ぎた男性にはPSA検査をお勧めします。ありがとございました。

入会を決断するとき、L小松からは「月2回の例会があるだけやから」という言葉に乗せられ、1ヶ月たった時には「環境保全の副委員長は何もすることはないから」と言われて、今年度、環境保全副委員長を務めさせていただきます。まんまと小松マジックに嵌ってしまったという思いです。先ほど、「鬼の大松、仏の小松」という言葉を紹介しましたが、最近になって、その言葉を聴く機会がありました。それをお兄さんでした。どうやら私は、小松兄弟マジックに嵌ってしまったようです。

しかしながら、私のチャレンジ精神に火をつけていただき、丸亀ライオンズクラブへ導いていただいたL小松には心から感謝しています。今後は、小松マジックには嵌らず、丸亀ライオンズ活動に嵌ってみたいと思います。ありがとうございました。

## 学生時代の思い出



Ｌ米田 晴彦

6月に入会させていただきました米田晴彦です。参議院選挙中もあり昼間マイクを握ってきたものですから、つい演説がでてしまいましたが、政治と宗教の話は御法度ということを知っておりますので、気をつけたいと思います。さて、私という人間を知っていただくために、暗かった学生時代の話をしたいと思えます。

中学高校時代、私は軟式テニスに、ほっこりなっていました。スポーツ根性も全盛の時代に育った私は、「巨人の星」「アタックナンバーワン」の主人公に自分をダブらせながら、スポーツで周りをから認められたいと、一生懸命でした。しかし、いかにせん。ガラスのハート。ゆえ望むような成績は挙げられませんでした。大学に入ってもその望みをかなえようと迷うことなく軟式テニス

部に入部しました。でもそこで挫折が待っていました。四年生を頂点としたヒエラルキー、四年生が「王様」、三年生が「平民」、二年生が「奴隷」、そして「一年生が「紙切れ」」そう呼んではばからず、競争至上主義の部の雰囲気嫌で嫌で、いたたまれず3カ月で逃げ出した自分も、根性無し。と許すことができず、悶々とした生活を送りまして。自分を鍛え直したい、でもどこの部に入っても似たり寄ったりではないのか、誰もがあまり経験をしていない部はないのか、そう考えるなかで清水の舞台から飛び降りるような気持ちでボート（漕艇）部の門をたたきました。練習はきついが、この部は温かかった。また、4人なり8人の息が合わなければボートは前に向いて進まない、息のあったときの気持ちのよさを体験しました。この経験は私にとつてかけがえのない経験となりました。

ライオンズの誓い「われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する」とある「相互理解」を深めようという姿勢に大いに共鳴しています。皆さまの一員として名を汚さぬように努めてまいります。どうかよろしくお願ひします。

## 遺言書作成の勧め



Ｌ子川 公清

先月、丸亀ライオンズクラブに入会させていただいた子川公清です。仕事は司法書士としております。仕事柄、相続に関する案件を扱いますが、親族間のトラブルとなる「争続」に発展することがよくあります。そこで本日は、「遺言のすすめ」というテーマで少しお話ししたいと思います。

司法統計によりますと、遺産分割の調停件数からその内容を見た場合、紛争の大半は自宅などの不動産が中心であり、分け合うことが難しいために紛争に発展したケースが多いようです。そこで皆さんにお勧めするのが遺言書の作成です。一般的に「自筆証書遺言」と「公正証書遺言」があります。それぞれにメリット、デメリットがあり、自筆証書遺言のメリットは、「●いつでもどこでも書ける●費用がかからない●秘密に出来る

など、一方デメリットとして「●検認を受ける必要がある●変更・紛失・破棄される虞がある●形式・内容不備で無効の虞がある」が挙げられます。公正証書遺言の方のメリットは、「●公証人が関与するので形式・内容不備で無効になる虞がない●原本が保管されるので紛失の虞がない●検認の必要がない」です。デメリットは、「●費用がかかる●承認が2人必要などありませんが、私は確実性と安心感から公正証書遺言をお勧めします」。

自筆証書遺言は、①本文②日付③氏名(普段の自分で書く)④作成者の印鑑(自分で押す)用紙に書いて封筒に入れ封印し、封筒の表面に「遺言書」、裏面に作成年月日と氏名を書きます。封筒内所には、内容文に押した印鑑と同じ印を押してください。法定相続人に財産を継がせる場合は「相続させる」、「相続人以外には「遺贈する」と書きます。ぜひお勧めするの、遺言書を作成した「理由」あるいは「願い」を記載することがです。これを「付言」と言います。時間関係で、遺言書のさわりしか、お話できませんでしたが、とにかく一度自分で書くことをお勧めします。書くことで、皆さんの考えや、家族への気持ちやハッキリしてやるのではないかと思います。ご静聴ありがとうございます。

## 第1354回例会

日時:平成25年7月18日(木)  
会場:オークラホテル丸亀

行事「新会員スピーチ」



【会員慶祝】



地区ガバナー  
松前龍宗様より  
L植田誠一へ  
5R-1Z-ZCの  
任命状贈呈

地区ガバナー  
松前龍宗様より  
L高田 章へ  
5R GMT・GLT会則・  
プロトコール委員の  
任命状贈呈



## 第1353回例会

日時:平成25年7月4日(木)  
会場:オークラホテル丸亀

行事「新年度方針発表」



【会員慶祝】



前年度  
5役の方々に  
記念品贈呈  
L馬場・L高橋・  
L中西・L松浦・  
L久保

丸亀LC15年継続出席  
記念品贈呈 L小松誠二



## 第1356回例会

日時:平成25年8月15日(木)  
会場:オークラホテル丸亀

行事 ゲストスピーチ

丸亀市産業文化部  
文化観光課 課長  
高橋 俊郎 様



演題「瀬戸内国際芸術祭2013」

【会員慶祝】



国際財団理事長  
ウェインA.マデン様より  
MJF1000ドル献金の  
礼状並びに  
MJFラベルピンが  
L植田誠一に贈られました。

国際本部より  
出席100%アワードが  
L小松誠二に  
贈られて参りました。  
おめでとうございます。



## 第1355回例会

日時:平成25年8月3日(出)  
会場:ホテルレオマの森

行事「夏の家族例会」



# 七尾ライオンズクラブを訪ねて

日時 平成25年8月1日(木)

場所 加賀屋



過日8月1日大岡会長始め内海幹事、岩井LTと共に七尾ライオンズクラブ家族例会に出席して参りました。朝10時頃丸亀駅を出発し、夕方4時頃和倉温泉駅に到着。

駅にはエロ会長(コウグチ)始め数名のメンバーの迎えを受け、会場となる「加賀屋」へ向かう。家族例会といっても例会行事はメンバーのみで行い、その後の懇親会で家族が合流するといった形式でした。

例会中で気づいたのは、幹事報告の書面が簡潔書きになっていることでした。新聞でいう中見出しのようなもので、詳細については幹事が即興で報告をするというもので大変見やすく感じました。

YCEについて、派遣はしていないが、受け入れは積極的に行っているとの事でした。七尾ライオンズクラブも50周年記念大会を控え、何かと準備で大変とお聞きしています。

あの夜、観覧させて頂いた純粋な火花の一丸となり、迫力のある式典になる事を期待しつつ、今回かなりの強行スケジュールでしたが、有意義な訪問でした。

YCE国際関係 姉妹提携委員会委員長 高木隆経

## 夏の家族例会

日時  
平成25年8月3日(土)

場所  
ホテルレオマの森

担当/計画委員会



ライオンズクラブ国際協会336-A地区5R-1Z  
**丸亀ライオンズクラブ発行**

事務局 / 〒763-0011 丸亀市富士見町3-3-50 オークラホテル丸亀内  
TEL(0877)22-6356  
URL / <http://marugame-lions.jp>  
E-mail / [info@marugame-lions.jp](mailto:info@marugame-lions.jp)

会長/大岡 信夫 幹事/内海 雅博 編集発行責任者/田中 祥友(PRライオンズ情報)T委員)